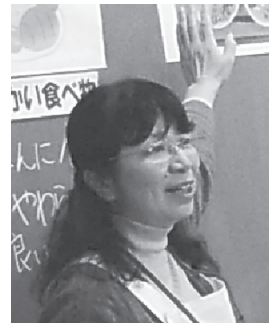


特集 「社会を生き抜く力と希望をはぐくむ教育の推進」

—— 平成28年度「授業の達人大公開」 ——

自ら考え、健康づくりに取り組む児童の育成

～ICT機器の活用や体験を通した、楽しく分かりやすい
「歯・口の健康づくり」の指導を目指して～



西区 植水小学校 養護教諭 菊池良子

1 はじめに

保健室の機能を生かした健康相談活動を活発にし、児童の学校生活を充実させることを大切にしてきた。また、本校の健康課題である歯科保健を中心に、よりよい生活習慣の形成を図るため保健指導や保健学習にかかわり、家庭と連携して児童の課題解決に努めてきた。特に本校では、ユニバーサルデザインの考えを取り入れた授業の研究や指導・支援に取り組んでいるため、体験やICT機器の活用による分かりやすい授業の工夫を目指している。

2 養護教諭が保健指導する効果を生かした授業実践

(1) 児童の実態から伝える

歯の交換期、歯科健診、肥満傾向や給食時の様子など、学年の発達段階や健康実態・生活実態を踏まえて指導した。

(2) 保健学習との関連を図る

4学年「よくかんで食べよう」では、噛むことと健康とのかかわりを通して、よりよく成長するために自ら考え、実践する指導内容を設定した。保健学習では栄養職員も授業にかかわった。

(3) 食育との関連を図る

給食の「噛みごたえのあるメニュー」を資料として活用し、学級担任と連携して給食時での声掛けなど、継続指導に生かした。

(4) 体験活動を通して考える

今回の授業では、大豆3粒を噛んで食べ、回数を変えて噛んだ時の違いを体感することから意識の変容を図った。食材の選定は、食物アレルギーを確認した。

(5) 学校歯科医との連携

健診結果や指導についての助言、講話など、学校歯科医と連携し専門性を生かした。

(6) 学級担任との連携

児童の実態や指導内容について研修することで、授業内容とともに児童の共通理解を深められた。

(7) ICT機器の活用

- ①学校歯科医の講話をビデオとして活用
- ②学級の実態に応じたパワーポイント資料の作成
- ③分かりやすい資料の提示
 - ・資料のグラフ化や拡大提示が容易
 - ・イラストや動画の活用
 - ・関係機関のデータ資料の活用

(8) 個別の指導や健康相談につながる

指導後、児童の関心が高まることやワークシート等を通して家庭と連携することで、保健室を生かした個別の指導につなげた。

3 おわりに

これからも取組を継続することで、指導を積み上げ、児童の「自分の健康は自分で守る」意識を高め、心身ともに健康で豊かな生活を実践できるよう健康教育を進めていきたい。